

第91回 福証IRフェア

2018年12月10日

 **日創プロニティ株式会社**

証券コード：3440

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

会社概要

- 商 号 : 日創プロニティ株式会社 (英文表記 : NISSO PRONITY Co., Ltd.)
- 本 社 : 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1-15-29
- 事 業 内 容 : 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
- 営 業 拠 点 : 本社、東京営業所、福島営業所
- 製 造 拠 点 : 山田工場 (福岡県嘉麻市)、福島工場 (福島県石川郡)
- 関 連 会 社 : 吾孺ゴム工業株式会社 (群馬県)、日創エンジニアリング株式会社 (東京都)
綾目精機株式会社 (広島県)、株式会社ダイリツ (愛知県)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
- 設 立 : 1983年9月
- 資 本 金 : 1,176百万円
- 市 場 区 分 : 福岡証券取引所 (Q - B o a r d) 証券コード : 3440
- 発行済株式数 : 7,360,000株
- 決 算 日 : 8月31日
- 従 業 員 数 : 278名 (連結)



ISO9001

社名の由来

Processing (プロセッシング) = 加工

Progress (プログレス) = 前進

Infinity (インフィニティ) = 無限大

「加工」を
キーワードに



事業の拡大
を目指す

PRONITY

プロニティ

沿革

2018.03月ダイリツを子会社化

2017.04月綾目精機を子会社化

2016.03月吾孺ゴム工業を子会社化
2016.04月日創エンジニアリング設立

2014.03月福島工場新設（東日本の製造拠点）
2014.06月福島営業所開設

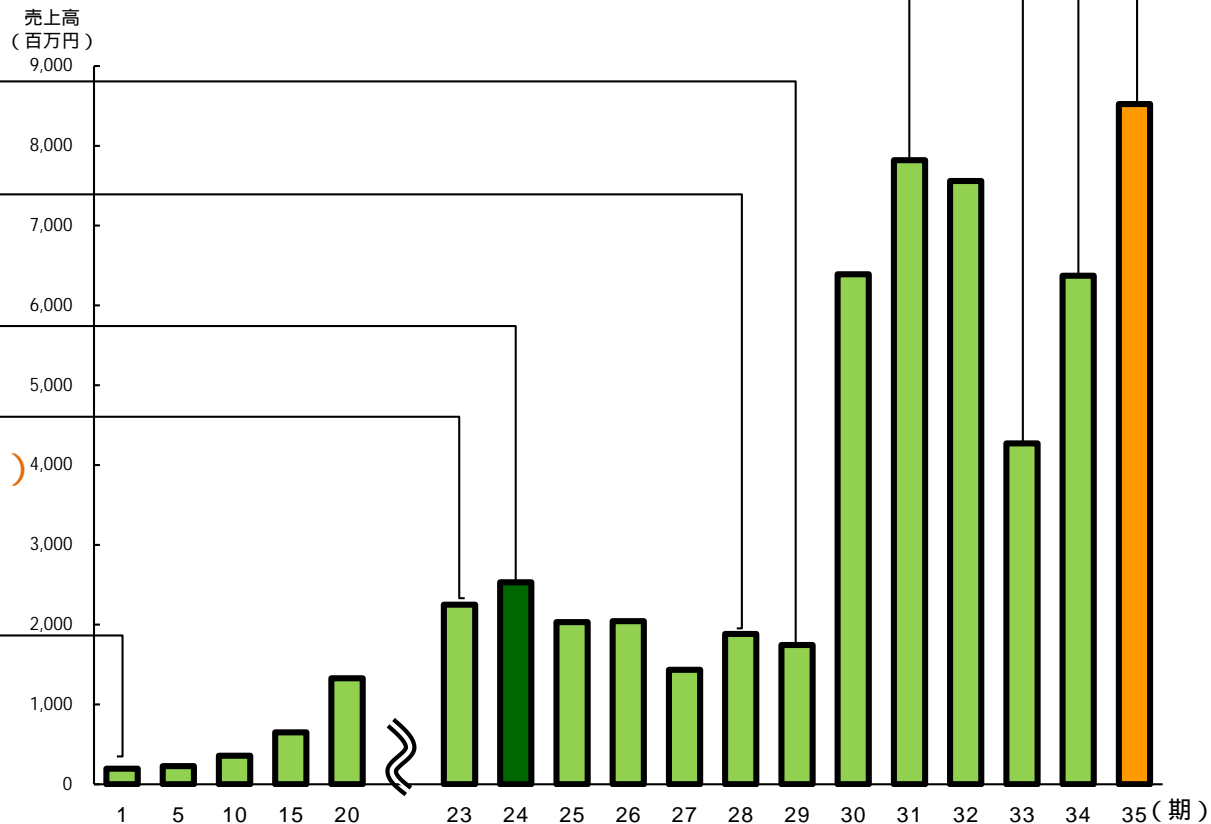
2012.07月 FITスタート
（再生可能エネルギー固定買取制度）

2011.02月東京営業所開設
（全国展開スタート）

2007.08月 福証Q-Board上場

2007.03月までに山田工場を
第5工場まで増設（西日本の製造拠点）

1983.09月設立
山田工場新設



日創プロニティグループの拠点

積極的な全国展開



グループ経営理念

日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

創業の精神



「日々創造」
グループ経営理念



日々の業務
の現実的な
指針

あらゆる課題に



チャレンジ

「日々創造」する企業集団

「日々創造」

グループ経営理念のもと

グループミッション

価値の創造

（社会貢献）

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、**新たな価値を創造**していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

グループビジョン

加工の総合商社

（挑戦）

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、**エンドレスに挑戦**を続けます。

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

事業セグメント

金属加工事業

太陽電池アレイ支持架台、金属パネル、空調用ダンパー等金属加工製品の企画、設計、加工、販売

ゴム加工事業

住宅、機械、公共インフラ設備等に使用するゴム製品の企画、設計、加工、販売

建設事業

上記事業に付随する建設事業

金属加工事業

建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

オーダー加工品 = ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品

「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、不燃断熱パネル等の各種金属パネル。



太陽電池アレイ支持架台



太陽光発電搭載型カーポート



レジストウォール（耐火パネル）

企画品 = 一定の規格に基づく 量産可能品

ユーザーに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



金属屋根材



金属壁材

山田工場

企画品

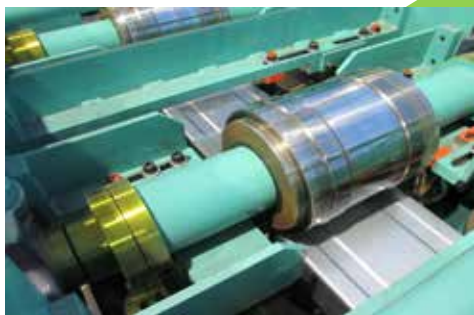
特徴 = 提案商品として企画した製品

第1工場



プレスによる企画品の生産

第2工場



ロールフォーミングによる企画品の生産

敷地面積：35,000m²

プレス・ロールフォーミング・
切断・曲げ・切削・組立・溶接



オーダー加工品

特徴 = 多品種なものを
オーダーにより加工

第5工場



切削・組立・溶接など

第4工場



切断・不燃断熱パネルの生産

第3工場



切断・パンチング・
曲げ・パネル加工など
オーダー加工による
特注品の生産

福島工場

2014年より**東日本のものづくり**を支える

敷地面積：41,418m²



生産設備

太陽電池アレイ支持架台成型ライン 耐火パネルライン
シャーリングマシン タレットパンチマシン プレスブレーキマシン
レベラーシャーマシン 各種成型機

最新鋭マシン（ロータリーインデックス搭載レーザー加工機）を導入

型鋼・パイプの高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置を搭載し、型鋼・パイプの兼用稼働が実現。加工領域の拡大に向けた、新しいオールラウンドマシンです。



設計・加工 ノウハウ

基盤産業から成長産業まで多種多様な業界との取引により、
設計・加工ノウハウを蓄積

ノウハウの蓄積が製品企画力・開発力の向上に繋がり、製品差別化に寄与

製品差別化に寄与

加工体制

材料調達から切断、曲げ、成型、組立等、最終加工まで、
加工のサプライ・チェーンを一元化（オールインワン加工体制）

材料は鉄鋼商社から仕入れ、仕入価格は鋼材メーカーと交渉

最新鋭設備の導入、多種多様な加工技術の保有

低コスト、短納期化に寄与

営業体制 製品開発体制

全国の営業拠点（福島、東京、福岡）

設計・加工ノウハウで差別化した提案営業力

新製品を生み出す企画力、製品化のスピードの速さ

顧客満足度の向上に寄与

メガソーラー用太陽電池アレイ支持架台の受注実績地図



太陽電池アレイ
支持架台



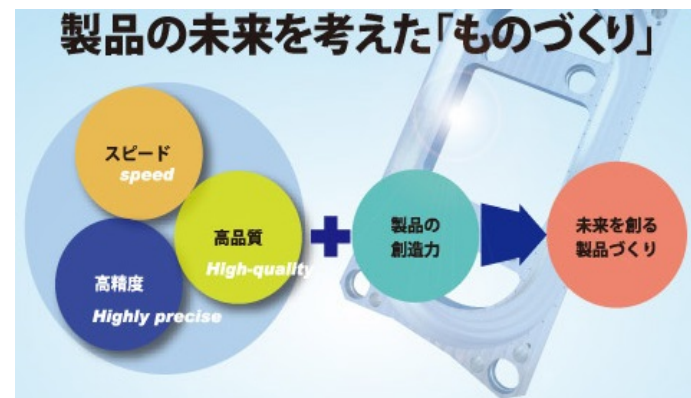
大規模な生産ラインを構築により大型案件に対応
独自の製品設計により低コストでの生産が可能
一貫生産による短納期の実現



メガソーラー受注実績 (2018年8月現在)
271件 / 1,389Mw

綾目精機株式会社（2017年4月子会社化） 金属精密切削加工業

産業用機械の部品（大型印刷機・医療機器・航空機等の部品）から農業用機械の部品まで、幅広い分野の多様な受注に対応。素材の調達、切削、焼入れ、メッキ、組立てまで一貫した加工を実現。

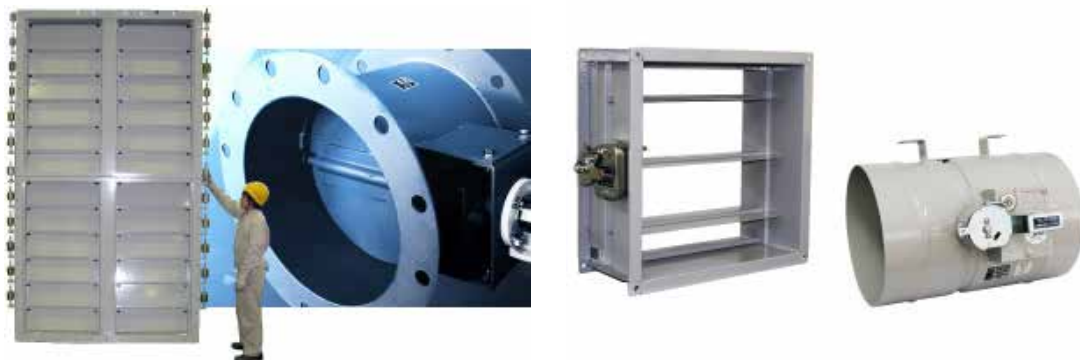


本 社 : 広島県府中市
代 表 者 : 代表取締役社長
石 田 徹
設 立 : 1988年4月
資 本 金 : 10,000千円
決 算 期 : 7月31日

株式会社ダイリツ（2018年3月子会社化） 空調関連機器製造業

自動制御・防火・防煙等の各種空調用ダンパーをメインに、制御機器、制気口、フード等の製品を展開。

各種プラント・発電所・トンネル等々、多様な用途に対応するオーダーメイドの特殊製品の製造に注力し、業績も堅調に推移。



風量調節ダンパー、防火ダンパーなど高精度なオリジナルダンパー



本 社 : 愛知県名古屋市
代 表 者 : 代表取締役社長
石田 徹
設 立 : 1961年5月
資 本 金 : 50,000千円
決 算 期 : 6月30日



カチオン電着塗装ライン

吾孀ゴム工業株式会社（2016年3月子会社化）

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。

ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。

本社・工場	:	群馬県藤岡市
営業拠点	:	東京営業所
代表者	:	代表取締役社長 石田 徹
設立	:	1982年7月
資本金	:	20,000千円
決算期	:	6月30日

自社製品 1995年 阪神淡路大震災後に開発



エクスパンションシール
（駅のホーム）



パイプ継手 エルボ
（重機メーカー向け）

強み

景気に左右されない事業基盤

日創エンジニアリング株式会社（2016年4月設立）

当社が「太陽電池アレイ支持架台」や「耐火パネル」を供給し、日創エンジニアリングが設置工事を行うことにより「材工一括受注」体制を構築。



太陽電池アレイ支持架台(設計、調達、設置工事、電気工事)



耐火/不燃断熱パネル(設計、調達、設置工事、内装仕上げ)



本 社 : 東京都台東区
代 表 者 : 代表取締役社長
大里 和生
設 立 : 2016年4月
資 本 金 : 20,000千円
決 算 期 : 8月31日

強み

金属加工事業との材工一括受注体制による営業提案力の向上

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

2018年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)

	2017.08期	2018.08期					
		計画	実績	前年同期比		計画比	
売上高	6,372	7,000	8,523	+ 2,150	+33.7%	+ 1,523	+21.8%
売上総利益	1,871	1,699	2,205	+ 334	+17.8%	+ 506	+29.8%
(売上総利益率)	(29.4%)	(24.3%)	(25.9%)	-	(3.5P)	-	(+1.6P)
営業利益	915	700	1,082	+ 166	+18.1%	+ 382	+54.6%
(営業利益率)	(14.4%)	(10.0%)	(12.7%)	-	(1.7P)	-	(+2.7P)
経常利益	947	711	1,103	+ 156	+16.6%	+ 392	+55.3%
当期純利益	624	467	824	+ 200	+32.0%	+ 357	+76.6%

2018年8月期決算概況（連結）

売上高は8,523百万円（前年同期比33.7%増、当初計画比21.8%増）

金属加工事業における大型かつ複数の案件が順調に推移したことや前連結会計年度にグループ化した綾目精機株式会社の業績が通期にわたって寄与したことにより、売上高は8,523百万円（2018年3月に子会社化した株式会社ダイリツの2018年6月1日から2018年6月30日までの1ヶ月間の売上高85百万円を含む）。

受注残高は6,481百万円（前年同期比138.9%増）

金属加工事業は4,934百万円（前年同期比90.9%増）、ゴム加工事業は82百万円（同1.4%増）、建設事業は1,463百万円（前年同期は45百万円）となり、合計6,481百万円で前年同期比138.9%の増加。

営業利益は1,082百万円（前年同期比18.1%増、当初計画比54.6%増）

売上高は前年同期比33.7%増であるが、主に金属加工事業において、販売価格の低下や材料費の上昇などの要因により、営業利益は1,082百万円（前年同期比1.7 P 減の営業利益率12.7%）。

当期純利益は824百万円（前年同期比32.0%増、当初計画比76.6%増）

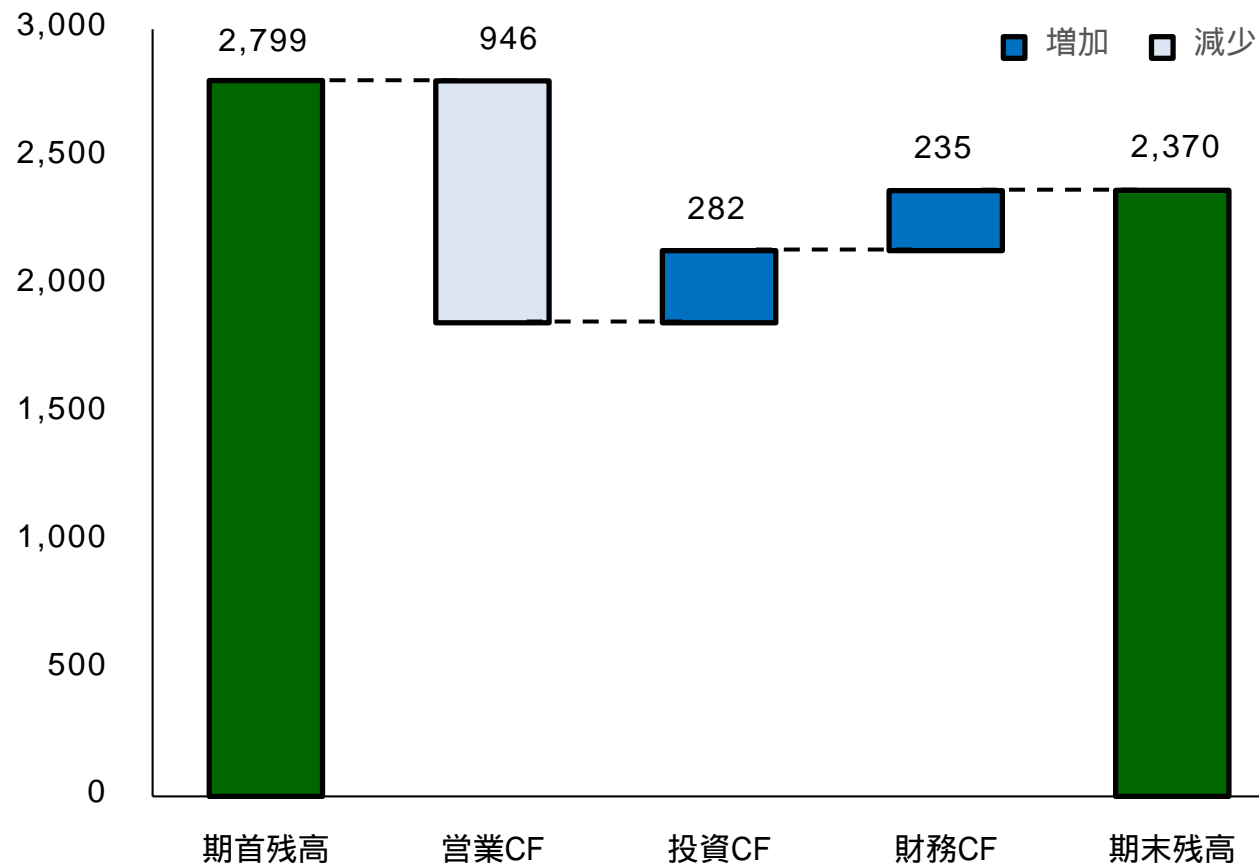
2018年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)

	2017.08期	2018.08期	増減	主な要因
流動資産	6,647	9,104	+ 2,457	受取手形及び売掛金2,390M、電子記録債権161M、完成工事未収入金148M
固定資産	3,077	3,396	+ 318	土地342M
資産合計	9,724	12,500	+ 2,775	
流動負債	1,346	3,130	+ 1,783	支払手形及び買掛金305M、短期借入金1,095M
固定負債	1,111	1,440	+ 328	長期借入金228M、資産除去債務97M
負債合計	2,458	4,570	+ 2,112	
純資産合計	7,266	7,929	+ 663	利益剰余金664M
負債純資産合計	9,724	12,500	+ 2,775	
自己資本比率	74.7%	63.4%	11.3P	

2018年8月期決算概況（連結）

(単位：百万円)



営業キャッシュフロー 946

税金等調整前当期純利益 1,182
 減価償却費 376
 仕入債務の増加 373
 売上債権の増加 2,376
 たな卸資産の増加 174
 法人税等の支払額 389

投資キャッシュフロー 282

定期預金の純減 351
 連結の範囲の変更を伴う子会社
 株式の取得による収入 141
 有形固定資産の取得 292

財務キャッシュフロー 235

短期借入金の純増 595
 長期借入金の返済による支出
 151
 配当金の支払額 160

2018年8月期決算概況（セグメント）

(単位：百万円)

	2017.08期	2018.08期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,372	8,523	+ 2,150	+33.7%
金属加工事業	4,629	6,151	+ 1,522	+32.9%
ゴム加工事業	1,223	1,217	5	0.4%
建設事業	519	1,153	+ 633	+121.9%
セグメント利益	1,228	1,415	+ 187	+15.2%
金属加工事業	959	1,058	+ 99	+10.4%
ゴム加工事業	206	178	27	13.3%
建設事業	62	178	+ 115	+183.3%
調整額	312	333	21	-
営業利益	915	1,082	+ 166	+18.1%

(注) 調整額(セグメント利益の合計額と営業利益との差異)は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用

2018年8月期決算概況（セグメント）

金属加工事業 売上高6,151百万円（前年同期比32.9%増）

新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組むとともに、太陽電池アレイ支持架台の大型かつ複数の案件が計画に基づき順調に推移したことや前連結会計年度にM & Aにより子会社化した綾目精機株式会社の業績が通期にわたって寄与したこと等により、売上高は6,151百万円（前年同期比32.9%増）、セグメント利益は1,058百万円（同10.4%増）、当連結会計年度末における受注残高は4,934百万円（同90.9%増）。

2018年3月に子会社化した株式会社ダイリツの2018年6月1日から2018年6月30日までの1ヶ月間の売上高85百万円を含む。

ゴム加工事業 売上高1,217百万円（前年同期比0.4%減）

営業活動の強化を推進し、建築部材や工業用品等が堅調に推移したものの、修繕費等の増加により、売上高は1,217百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は178百万円（同13.3%減）、当連結会計年度末における受注残高は82百万円（同1.4%増）。

建設事業 売上高1,153百万円（前年同期比121.9%増）

グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動に取り組んだ結果、売上高は1,153百万円（前年同期比121.9%増）、セグメント利益は178百万円（同183.3%増）、当連結会計年度末における受注残高は1,463百万円（前年同期は45百万円）。

太陽光発電設備の認定及び稼働状況

太陽光発電市場は中小型案件から大型案件にシフト。

認定設備に対する設備導入量は全体で53.4%、
当社の案件で比率の高い2,000kw以上では20.2%

(単位:MW)

	認定量	導入量	導入比率
10kw未満	5,470	5,190	94.9%
10kw以上50kw未満	18,940	12,050	63.6%
50kw以上500kw未満	4,278	3,478	81.3%
500kw以上1,000kw未満	4,816	3,731	77.5%
1,000kw以上2,000kw未満	12,129	8,275	68.2%
2,000kw以上	25,251	5,095	20.2%
合計	70,884	37,819	53.4%

(注1) 資源エネルギー庁「固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト」を基に当社作成。

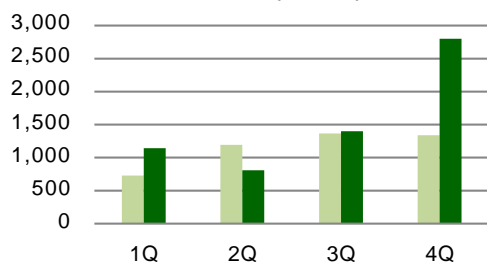
(注2) 平成29年12月現在(平成30年8月29日公表データ)

2018年8月期決算概況（セグメント）

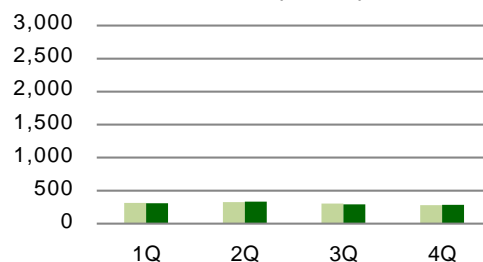
（単位：百万円）

	1Q		2Q		3Q		4Q		通期	
	2017.08期	2018.08期	2017.08期	2018.08期	2017.08期	2018.08期	2017.08期	2018.08期	2017.08期	2018.08期
売上高	1,041	1,496	1,566	1,214	2,026	2,084	1,737	3,727	6,372	8,523
金属加工事業	728	1,143	1,194	808	1,366	1,398	1,339	2,801	4,629	6,151
ゴム加工事業	312	308	326	332	302	292	280	283	1,223	1,217
建設事業	-	44	45	73	357	394	117	642	519	1,153
セグメント利益	118	251	323	174	440	350	344	639	1,228	1,415
金属加工事業	69	215	253	113	335	232	300	497	959	1,058
ゴム加工事業	55	38	71	61	52	54	26	24	206	178
建設事業	5	2	1	0	52	62	17	118	62	178
調整額	71	70	72	70	104	100	65	92	312	333
営業利益	47	181	251	104	336	249	279	547	915	1,082

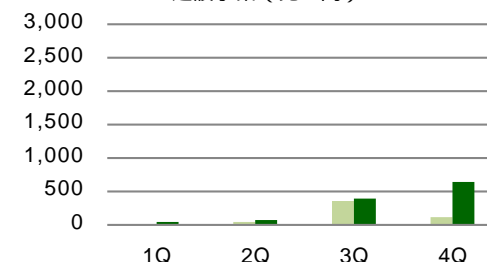
金属加工事業（売上高）



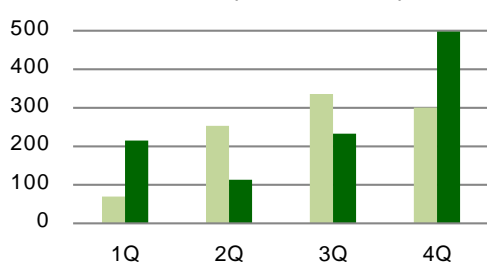
ゴム加工事業（売上高）



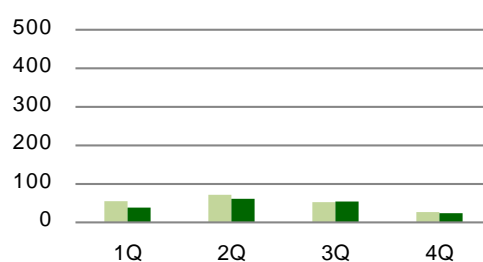
建設事業（売上高）



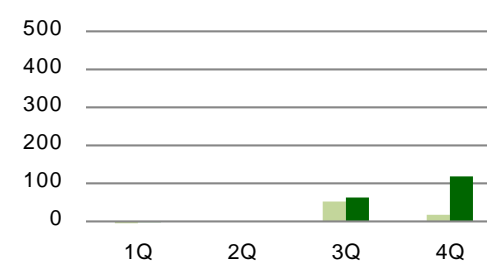
金属加工事業（セグメント利益）



ゴム加工事業（セグメント利益）

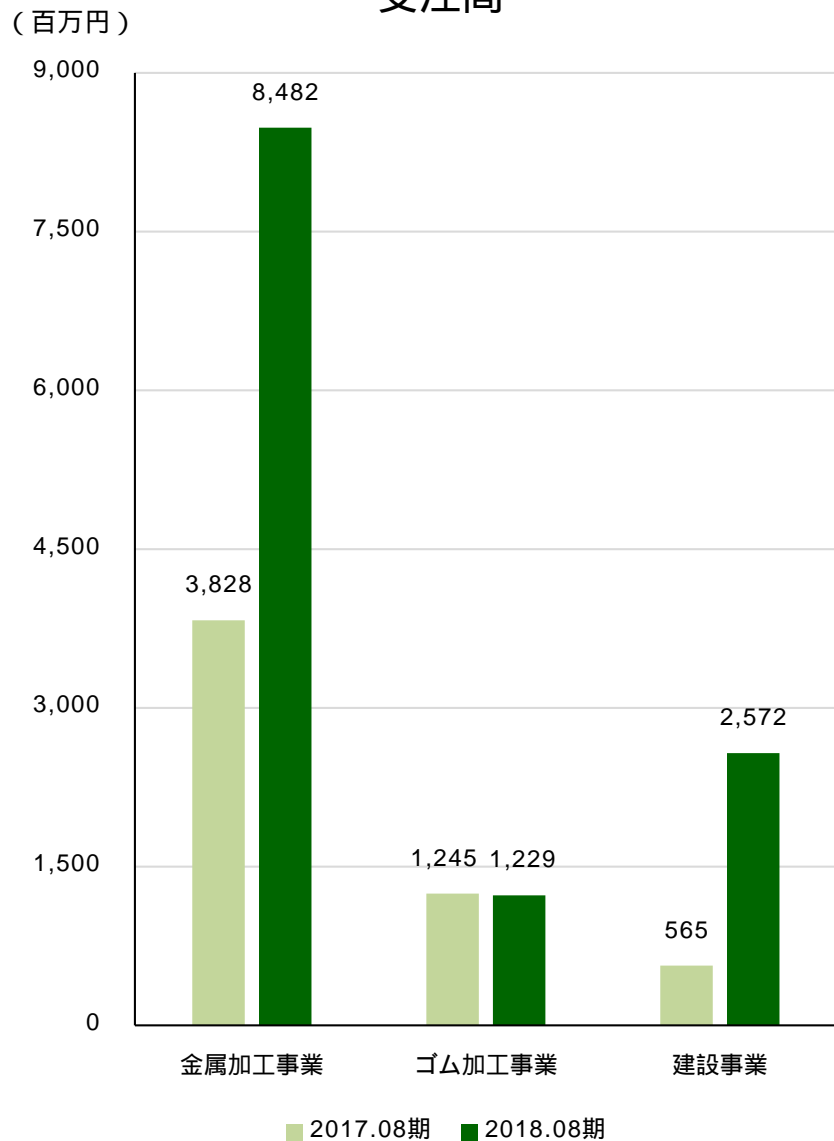


建設事業（セグメント利益）

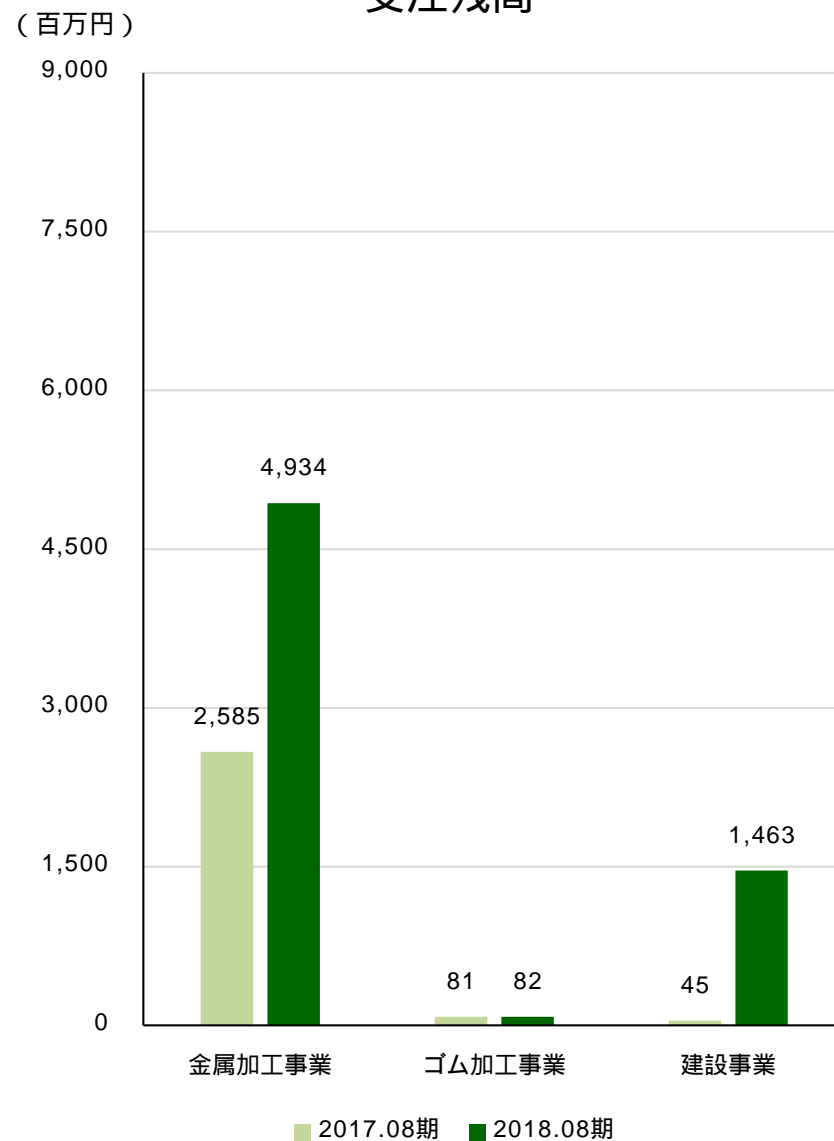


2018年8月期決算概況（セグメント）

受注高



受注残高



- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

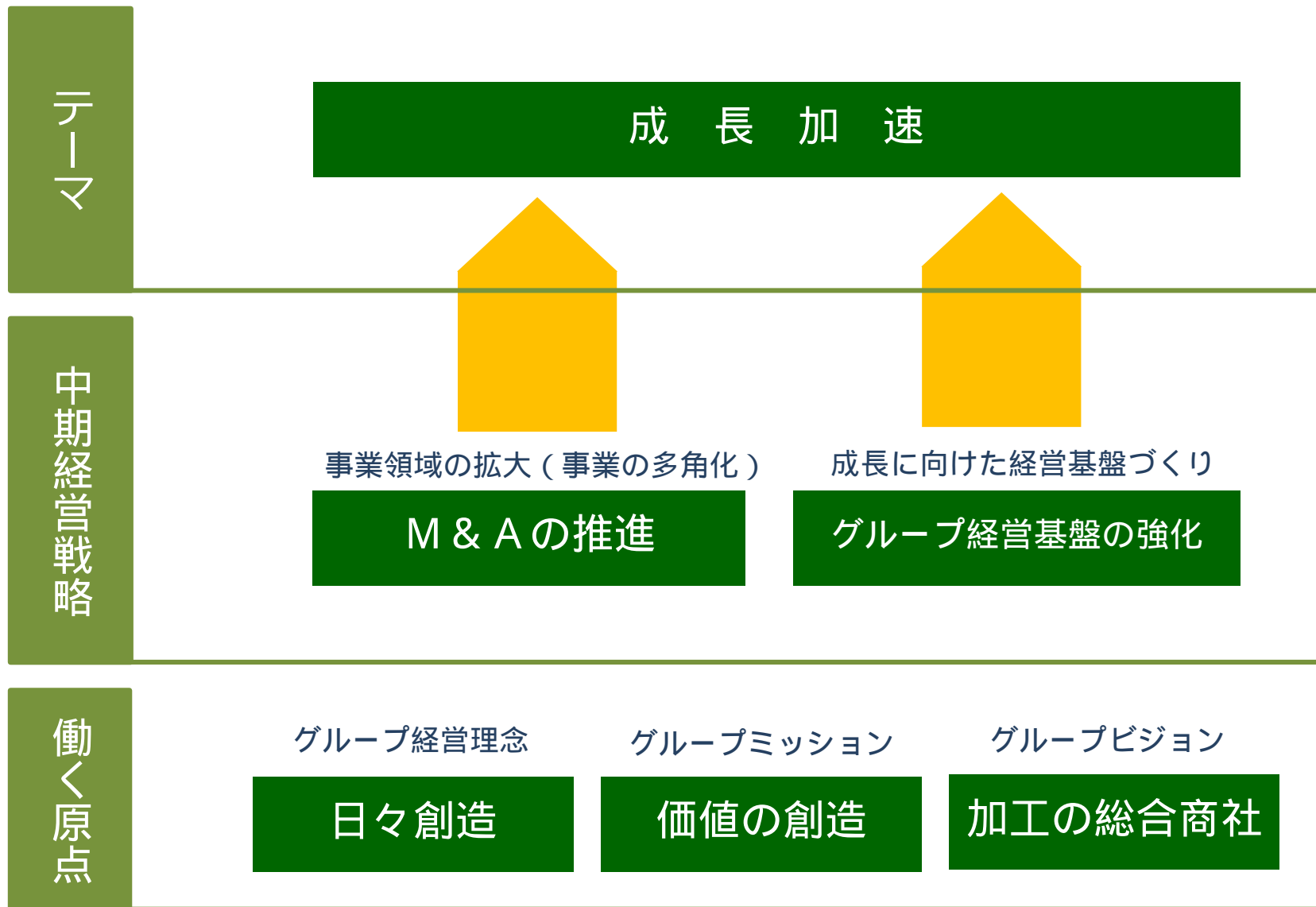
業績見通し（連結）

- (1) 金属加工事業において株式会社ダイリツの業績が通期にわたって寄与すること、太陽電池アレイ支持架台の大型かつ複数の案件の納入計画等により、11,600百万円（前年同期比36.1%増）。
- (2) 一部販売価格の低下、材料費の上昇及び外注費の増加等を見込み、売上総利益2,792百万円（前年同期比26.6%増）。
- (3) 売上原価率の上昇により、営業利益率は11.3%（前年同期比1.4P減）となり、営業利益1,308百万円（同20.9%増）。
- (4) 当期純利益865百万円（前年同期比4.9%増）。前期は法人税等調整額が一時的に増加。
- (5) 引き続きM&A戦略を積極的に推進する（M&Aの数値は、計画に含めていない）。

（単位：百万円）

	2018.08期	2019.08期		
		計画	前年同期比	
売上高	8,523	11,600	+ 3,076	+36.1%
金属加工事業	6,151	8,878	+ 2,727	+44.3%
ゴム加工事業	1,217	1,221	+ 3	+0.3%
建設事業	1,153	1,500	+ 346	+30.0%
売上総利益	2,205	2,792	+ 586	+26.6%
（売上総利益率）	(25.9%)	(24.1%)	-	(1.8P)
営業利益	1,082	1,308	+ 225	+20.9%
（営業利益率）	(12.7%)	(11.3%)	-	(1.4P)
経常利益	1,103	1,302	+ 198	+17.9%
当期純利益	824	865	+ 40	+4.9%

中期経営計画（2019年8月期～2021年8月期）の全体像



M & Aの推進

M&Aの推進

- (1) M & A・アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）
- (2) 3年間で上限50億円のM & A・アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

(1) M & A・アライアンスによる事業領域の拡大（事業の多角化）

「加工」をキーワードに、素材を問わず加工技術・ノウハウを集め、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、「加工のプラットフォーム」を創出

前中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化

前中計2年目実績：綾目精機株式会社（金属加工事業）を子会社化

前中計3年目実績：株式会社ダイリツ（金属加工事業）を子会社化

(2) 3年間で上限50億円のM & A・アライアンスに係る戦略投資枠の再設定

経営の機動性を高めるため、3年間（2019年8月期～2021年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を再設定し、成長を加速。

前中計で設定した戦略投資枠をリセットし、同額で再設定

前中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）

前中計2年目実績：綾目精機株式会社（投資額480百万円）

前中計3年目実績：株式会社ダイリツ（投資額51百万円）

M & A の推進方針

最重要戦略
事業領域拡大（多角化）

『加工』を
キーワード

M&A・アライアンス

金属

ゴム

プラ

カーボン

電機

等々

加工のプラットフォーム（事業のコア）

加工の総合商社

加工ノウハウの集約

加工の総合提案
（加工をオールインワンで提供）

差別化された製品開発
（デザイン・設計・開発）

競争力と収益力を生み出す

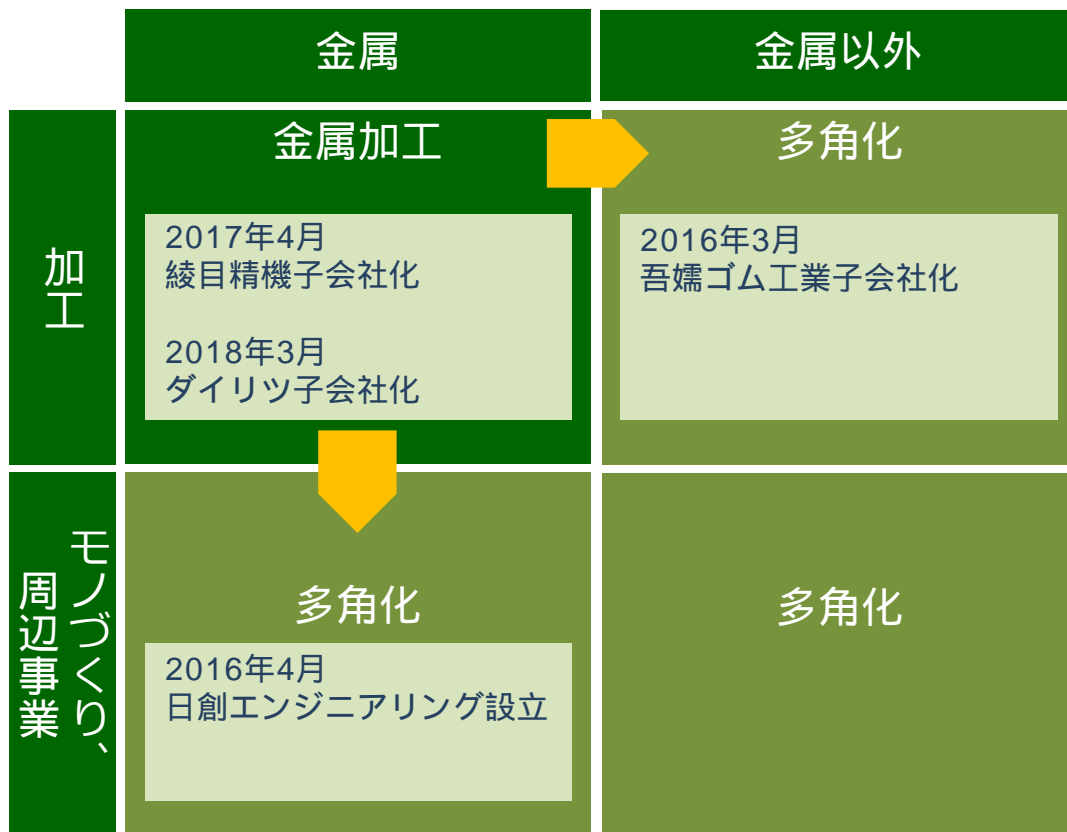
事業の多角化

ビジネスモデル

M & Aの推進方針

推進方針

- (1) 金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）
- (2) 連携体制を強化し、業績向上とグループ管理体制を構築



情報入手先

銀行・証券会社・専業会社等から、M&A情報を入手

検討

シナジー、投資リスク、投資採算、条件等を社内プロジェクトチームにて検討

クロージング

基本合意・デューディリジェンス・機関決定・適時開示・最終合意を経てクロージング

P M I

連携体制を強化し、業績向上とグループ管理体制を構築

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

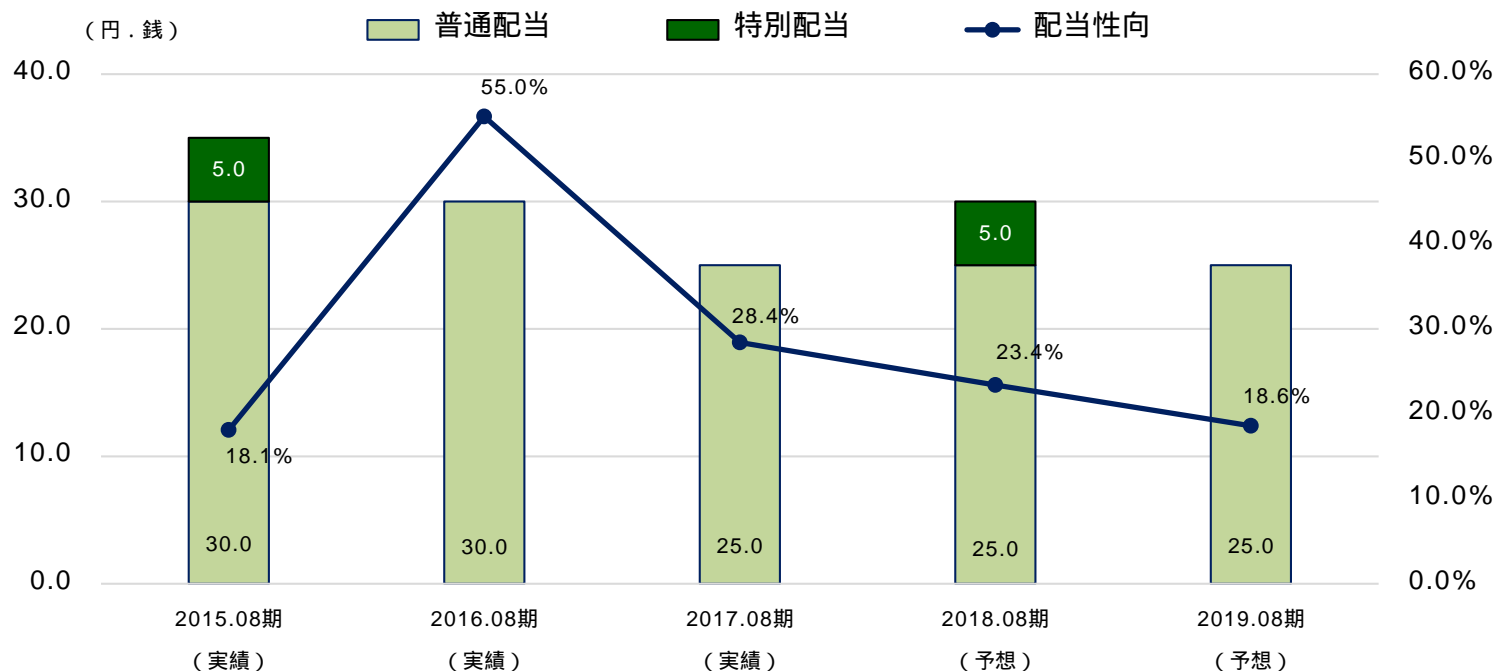
配当方針

配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

(円・銭)

	2015.08期 (実績)	2016.08期 (実績)	2017.08期 (実績)	2018.08期 (実績)	2019.08期 (予想)
特別配当	5.0	-	-	5.0	-
普通配当	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0
計	35.0	30.0	25.0	30.0	25.0
配当性向	18.1%	55.0%	28.4%	23.4%	18.6%



お問い合わせ先・ご注意事項

お問い合わせ
先

日創プロニティ株式会社 経営企画室

TEL: 092-552-3749

<http://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

< ご注意事項 >

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。